

平成 29 年度 県民健康セミナー岐阜県認知症理解普及講座 参加報告

主催 : 岐阜県医師会、岐阜県

日時 : 平成 29 年 11 月 3 日 (金・祝)

会場 : みの観光ホテル

今回、岐阜県医師会ならびに岐阜県主催の「県民健康セミナー」に理学療法士として参加させていただきましたので報告いたします。

事業概要

岐阜県医師会、岐阜県が主催している事業になります。

地域における認知症理解の普及および認知症高齢者やそのご家族への体制支援に構築に向けた取り組みを推進する一環として、地域の方々を対象にした「県民健康セミナー (年 1 回)」を開催しています。今回は「認知症カフェ」「講演会」「パネルディスカッション」という構成でセミナーが構成されていました。

パネルディスカッションへの参加

「地域でつながる・支える・見守る認知症」というテーマで、中濃地区で日頃認知症の方と接し、支えている人々が多方面から集まり、認知症の方が安心して暮らすことが出来る地域とはどのようなものかをパネリストそして会場の皆様と考えることがコンセプトです。

コメンテーター : 国立長寿医療研究センター 鷲見先生 (医師)

パネリスト :

慈恵中央病院 稲垣先生 (医師)

「認知症疾患医療センターの役割について」

のぞみの丘ホスピタル 中津智広 (理学療法士)

「地域事業と運動 (コグニサイズ)」

関市認知症初期集中支援チーム 河合氏 (社会福祉士)

「認知症初期集中支援チームの紹介」

認知症の人と家族の会 長尾氏

「認知症になった家族を持つ気持ち」

可児市地域包括支援センター 川崎氏

「可児市の事業の紹介」

各自 10 分ほどの時間で活動内容を参加者の方々へお伝えしていきました。

私は、理学療法士としてももちろん各市町村さんのご協力のもと、地域で活動している内容をいくつか報告させていただきました

中には、一般の方のみならず地域包括支援センター職員さんや施設職員さんも参加されており、発表後「是非、私の地域でも実践してみます」というコメントもいただきました。



< 県民健康セミナーを終えての講演講師およびパネリスト >

今回、理学療法士として、このようなセミナーで発表する機会をいただき、大変有意義に感じました。様々な職種の方が、地域の方々に対して様々な形で支援されている状況を改めて確認することができました。理学療法士として、地域の皆様の「安心」を届けることのできる役割を確立していく中で、今後も連携をキーワードに実践していかなければいけないと改めて考えさせていただきました。

簡単ではございますが、地域での活動報告とさせていただきます。

今回、このような機会を与えて下さった岐阜県医師会ならびに岐阜県職員の方々に深く感謝いたします。

のぞみの丘ホスピタル 理学療法士 中津智広